

うれしの 市議会だより

令和7年
(2025)
1月29日発行

vol. 76

令和6年 第4回定例会

補正予算	2
条例のなかみ	3
議案のなかみ	3~5
陳情・請願	5
討論	6~7
一般質問	8~17
委員会活動	18
提言・日程	19
コラム・トピックス	20

発行・嬉野市議会

編集・議会広報編集特別委員会

〒849-1492

佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769番地
TEL 0954(66)9127 FAX 0954(66)2887



一般会計総額が 225億8,706万円に



第4回定例会 一般会計補正予算は

7億2291万円

令和6年第4回定例会は12月3日に招集され、12月18日までの16日間の日程で開催されました。提案された議案は、報告1件、条例の制定1件、条例の一部改正7件、条例の廃止1件、指定管理者の指定3件、一部事務組合規約の変更1件、補正予算5件、追加で提案された報告1件、補正予算1件、契約の締結1件、発議3件の合わせて25件が上程され、慎重審議を行い12月18日に全議案を可決しました。

今回の補正では、令和7年度まで継続費を設定して事業を行っている嬉野小学校バリアフリー化改修事業の継続費総額の補正、現年災害復旧事業の明許繰越補正、令和7年度以降の支出に係る債務負担行為、及び事業費の補正に伴う地方債の補正も併せて計上されました。また、現在木場地区で行っている「地すべり調査観測測量設計業務」

会計名	補正額	補正後の総額	
一般会計	7億1,741万円	225億8,156万円	
一般会計 (12/10 追加補正)	550万円	225億8,706万円	
特別会計	国民健康保険	1億8,841万円	38億3,929万円
	後期高齢者医療	161万円	4億6,629万円
	駅周辺土地区画	12万円	9,247万円
企業会計 下水道事業	収益的収入	196万円	8億1,941万円
	収益的支出	△6万円	8億1,088万円
	資本的収入	1,525万円	4億2,915万円
	資本的支出	1,500万円	5億7,778万円

イロットオフィス一整備に伴う什器購入費用に712万円、「産地パワーアップ事業」で整備するハウスの整備事業における一部補助として1500万円、指定農道（五町田・中村線）において、車両の安全を確保するために、水位モニターリングシステム及び電光表示板を設置する費用に780万円、物価高騰及び工事工法の変更が必要になったことに伴う嬉野小学校のバリアフリー化改修事業に3370万円となります。

その他の議案としては、嬉野市下水道使用料の改定に伴う関係条例の整備に関する条例、また

嬉野市うれしの茶交流館（チャオシル）や嬉野市営キャンプ場（広川原キャンプ場）の指定管理者を指定する議案等が審議されました。

議会としては、可決した予算の確実な執行及び指定管理者となった施設の管理・運営状況等にも注視していくよう努めてまいります。



条例のなかみ



嬉野市下水道使用料の改定に伴う関係条例の整備に関する条例について

下水道条例等の一部を改正する条例が可決されました。下水道料金を約30%値上げする方針で、同じ料金体系をとる市農業集落排水、市営浄化槽の使用料も令和7年5月から値上げとなります。

問 料金改定の理由は

答 これまでは、使用料金が他市町より低い水準にあり、下水道事業会計においては、約1億2千万円の不足が生じていた。約30%の値上げにより不足分を約6千万円に抑えることができる。

改正後		現行	
基本使用料	1,000円	基本使用料	1,200円
10m ³ 以下	100円 (1m ³ につき)	10m ³ まで	
10m ³ を超え 20m ³ 以下	140円 (1m ³ につき)	10m ³ を超える部分 超過使用料	
20m ³ を超え 40m ³ 以下	190円 (1m ³ につき)	(1m ³ につき)	150円
40m ³ を 超える部分	230円 (1m ³ につき)		



議案のなかみ



指定管理者の指定について(嬉野市営キャンプ場(広川原キャンプ場))

嬉野市においては長年、市直営でキャンプ場の運営がおこなわれてきました。

昨今、全国的にアウトドアやサウナブームによる様々な形でのキャンプ利用が増えてきており、キャンプ場の形態も変わりつつあります。

そこで今回キャンプ場の更なる利活用及び地域観光業との連携を図るため、令和6年8月に指定管理者募集が開始され、今議会において指定管理者が決定されました。民間のノウハウを活用した施設の効果的・効率的な管理運営により、運営経費の削減や住民サービスの向上を図れるよう議会としても期待しています。

問 指定管理者は。

答 嬉野温泉アウトドア共同企業体である。

問 事業計画は。

答 誘客活動並びに営業活動の強化、旅館組合との連携、ネット予約システムの導入、環境整備・ゴミ回収サービス(自主事業)の導入などである。

問 指定管理の期間は。

答 令和7年4月1日から令和10年3月31日まで。





庁舎整備関連事業(パイロットオフィス用什器^{じゅうき})

712万円

新庁舎でのオフィス改革を見据え、現塩田庁舎内にパイロットオフィスを設置し、今後の働き方やオフィス環境の検証が行われます。

パイロットオフィスとは、組織全体にオフィス改革を展開する前に、特定の部門や課単位で試験的に新しい働き方を導入する取組みです。

取組内容としては、職員の座席を固定席からフリーアドレス（自由席）に変更し、業務効率化や職員同士の連携強化、ペーパーレス化等の効果検証が行われます。

問 予算の詳細は。

答 什器（机や椅子など）の備品購入費である。購入したものは引き続き利用していく予定。

問 どの範囲で実施するか。

答 企画政策課で実施し、メリットや課題などを新庁舎整備前に把握していく。



指定農道維持管理事業

780万円

指定農道五町田中村線は、嬉野鹿島間をつなぐ重要な路線ですが、豪雨によりたびたび浸水しています。

これまでは職員が「浸水注意」「通行止め」の看板を昼夜問わず設置に行く必要がありましたが、安全面や時間面などの負担が大きく、また夜間は看板が見えづらく、暴風時には看板を設置できない状態でした。

以上のことから、ドライバー・車両の安全安心を確保するため、水位計と電光表示板を活用して通行規制をする予算が計上され可決しました。

問 どのような仕組みになるのか。

答 浸水地に水位計を設置して、感知した現場の水位状況がメールで管理者へ送信され、その水位状況により電光表示板を遠隔操作で切り替えドライバー等へ情報提供する。

問 電光表示板はどこに設置するか。

答 三ヶ崎の信号機付近と考える。



浸水時の通行止め状況





新庁舎建設工事請負契約

39億2,700万円

嬉野市新庁舎建設工事請負契約は条件付き一般競争入札により、松尾建設株式会社佐賀支店と黒木建設株式会社嬉野支店で構成されている「松尾・黒木特定建設共同企業体」との間で契約が締結されました。契約金額は39億2,700万円となっています。

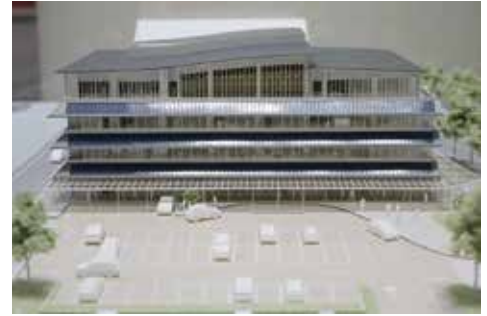
契約締結には議会の議決が必要で12月18日に可決しました。

問 入札状況はどうだったのか。

答 入札には、2者が応札し、1者が辞退された。

問 新庁舎建設の今後の予定は。

答 嬉野第2庁舎跡地に令和7年1月着工、令和8年6月竣工、同年10月から供用開始予定となっている。その後、旧庁舎が解体され、令和10年3月中に全体工事が完了する予定となっている。



陳情

嬉野市・鹿島市・武雄市の3市連携による映画鑑賞環境整備の陳情
嬉野市塩田町

杉谷 雅博氏

令和7年度理科教育設備整備費等補助金
予算計上についてのお願い

東京都千代田区

公益社団法人 日本理科教育振興協会

会長 大久保 昇氏

学校教材備品の計画的な整備推進について
のお願い

東京都港区

一般社団法人 日本教材備品協会

会長 大久保 昇氏

臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情

東京都新宿区

一般社団法人

中国における臓器移植を考える会

代表 丸山 治章氏

政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査
を求める陳情書

佐賀県上峰町

庁舎内の政党機関紙勧誘の白粛を求める

佐賀県民の会

代表 岡 孝一氏

新幹線通学定期券購入補助に関する陳情書

嬉野市嬉野町

石橋 遼磨氏外3名

次年度看護学校運営費市町補助金要望について

鹿島市

鹿島藤津地区医師会立看護高等専修学校

校長 伊山 明宏氏

請願

五町田地区（大黒町・前牟田）害獣
対策に関する請願

嬉野市塩田町

五町田区大区長（兼第四区長）

小笠原 傳次氏外4名

審査結果

紹介議員及び担当課へ事情聴取を行い、願意妥当と認め趣旨採択とした。

「議案第76号指定管理者の指定について（チャオシル）」に対する継続審査及び継続審査を付託する新たな特別委員会設置についての動議

動議



討論

賛成6 反対9

否決

提案理由 この案件は市民が非常に高い関心を示している案件であり、十分な審査を行うためには時間が必要である。市民が納得する議論を尽くすことが議員の責務と考えるため議員全員による新たな特別委員会を設置後、閉会中において付託し継続審査としたい。

提出者 増田 朝子 議員 賛成者 芦塚 典子 議員



田中 政司 議員

反対

令和6年8月に選考委員会が立ち上がり、その後、市のガイドラインに沿って公募等が行われ選考委員会の協議の結果、事業者が決定している。運営に予定される金額については、決定した事業者と今後協議がなされ、令和7年度の当初予算の段階で計上されるものと理解する。

この段階で、継続審査及び特別委員会の設置を発議されるのは、選考委員会の決定に疑義を唱えるものであり、発議の理由が筋違いと考え発議に対し反対する。

異例の追加答弁があり、十分な審査を行うための時間が必要である。4,200万円の指定管理料は、他の指定管理施設や公共施設全体の整合性を取るべきである。3年間の指定だが、決算時において高額な予算が、大幅に変わることはまずない。

今後安定的に運営され継続的に専門性を発揮できる施設にするためには事業計画を詳細緻密に審議する必要がある。他の施設との関連性などの情報を得て、さらに議会での継続審議が必要である。

賛成



芦塚 典子 議員



森田 明彦 議員

反対

チャオシルの指定管理者選定にあたり、市では応募4事業者の中で適切・公正な審査をもって当該事業者を選ばれている。

また、納入事業者数社に何ったが、売り上げが確実に伸びていてお客さんが増えていると実感されている。また、スタッフの対応も良く、代表者の指導力も評価されている。今回、公正な審査で選ばれた業者に対し、継続審査を求めることは約束不履行と言える。よって反対の意見とする。

予算については当初予算で審議すべきであるが、今回の指定管理の指定にあたっては上限4,200万円と提示されており、議員として予算見込みに対してしっかりと審査を尽くしていきたい。賛成を押し後悔しないのか、私自身まだ判断がつかかねている。皆が納得した上で進めていきたいので、賛成反対の討論をする前段階として議案質疑をもう一度、1日追加することが議会の場だと思うので、継続審査に賛成とする。

賛成



山口 卓也 議員

補正予算

条例のなかみ

議案のなかみ

陳情・請願

討論

一般質問

委員会活動

提言・日程

トピックス

議案第76号 指定管理者の指定について（チャオシル）

討論

賛成9 反対6

可決

指定管理料上限4,200万円の設定額が高額で、提出された収支計画書、人件費8人分(給料、賞与、社会保険料等)3,181万2千円では市民が納得しない。
指定管理制度運用ガイドラインにおいては、住民サービスの向上と経費の削減を図ることを目的としているが、今回の指定管理料は、ガイドラインに沿っていない。他の指定管理事業者と比べ、公平性がなくガイドラインとの整合性がない。よって、反対する。

反対



増田 朝子 議員



諸上 栄大 議員

賛成

今までチャオシルについては議員の中からも指定管理の方向性を提案されてきた。特に、令和5年第3回定例会の決算審査報告においての指摘事項では、民間のノウハウを活用し更に充実するよう努めるべきと指摘されている。
議案は指定管理選定委員会で決定された事の承認であり、その内容は、指定管理ガイドラインに沿った対応をされている。今が指定管理への運用に変更すべき時であると考え、この議案に賛成する。

指定管理料4,200万円は、他の指定管理者と比較して高額である。提出された事業計画では、集客増の予算が少なく、毎年同額の予算であり、効果的な運営が望めない。指定管理の利便性はコストカットであるが、今回の場合コストアップであり、コスト効果が得られない。集客の推進やコストダウン、情報発信など指定管理が生かされる運営方法を計画すべきであり、市民に親しまれる施設で納得される予算を計上すべきであり、よって反対する。

反対



芦塚 典子 議員

令和6年第4回 定例会議案賛否表(主なもの)

○は賛成 ●は反対 議長は採決に加わりません

議案番号	議案名	結果	表決数	番号															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
				水山 洋輔	大串 友則	古川 英子	阿部 愛子	山口 卓也	諸上 栄大	諸井 義人	山口 虎太郎	宮崎 良平	川内 聖二	増田 朝子	森田 明彦	芦塚 典子	田中 政司	梶原 睦也	
議案第66号	嬉野市下水道使用料の改定に伴う関係条例の整備に関する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号	嬉野市廃棄物の処理及び清掃並びに浄化槽に関する条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第74号	嬉野市出張所設置条例を廃止する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第75号	指定管理者の指定について(※嬉野市コミュニティセンター)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第11号	「議案第76号 指定管理者の指定」に対する継続審査及び継続審査を付託する新たな特別委員会の設置について	否決	6:9	○	○	●	●	○	●	●	○	●	●	○	●	○	●	●	●
議案第76号	指定管理者の指定について(※嬉野市うれしの茶交流館)	可決	9:6	●	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第77号	指定管理者の指定について(※嬉野市宮キャンプ場(広川原キャンプ場))	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第79号	令和6年度 嬉野市一般会計補正予算(第5号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第80号	令和6年度 嬉野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第81号	令和6年度 嬉野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第82号	令和6年度 嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計補正予算(第1号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第83号	令和6年度 嬉野市下水道事業会計補正予算(第3号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第85号	建設工事請負契約の締結について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

一般質問

15議員が質問

- 諸井 義人 議員 P8
- 森田 明彦 議員 P8
- 梶原 睦也 議員 P9
- 田中 政司 議員 P10
- 芦塚 典子 議員 P10
- 川内 聖二 議員 P11
- 古川 英子 議員 P12
- 山口 卓也 議員 P12
- 諸上 栄大 議員 P13
- 水山 洋輔 議員 P14
- 大串 友則 議員 P14
- 増田 朝子 議員 P15
- 阿部 愛子 議員 P16
- 山口 虎太郎 議員 P16
- 宮崎 良平 議員 P17



諸井 義人 議員

通勤通学補助の効果は

答 定住に大きく
寄与している



森田 明彦 議員

森田 国道34号一位原文
差点において、嬉野方面
から塩田・鹿島方面へ向
かう車の混雑緩和策につ
いて国道事務所への要望
および働きかけはなされ

諸井 補助金受給は塩田
町在住者、嬉野町在住者
でどうなっているか。
企画政策課長 塩田町在
住者3名、嬉野町在住者
51名で嬉野地区の利用者
が多い。
諸井 高校生のバスや電
車の通学定期補助がよい
のではないか。
市長 バス路線の確保と
いうことで運営に関する
補助を相当額行っている。
学生への負担軽減は今後
検討していく。通勤者に
ついても新幹線のある暮
らしというところで当面継
続したい。

度当初予算において防災
備蓄品の導入費用を補助
する方針を固められた。
国の方針を受けて嬉野市
においても検討、準備が
必要と考えるがどのよう

企画政策課長 人数では
嬉野地区に偏りがあるこ
とを含めて、今後制度に
ついては協議が必要。
**公金及び校納金の管理
について**
諸井 行政現場において
現金の取扱いはどうか。
会計管理者 現金を扱う
ことはほばない。口座振
り込みにより実施してい
る。
諸井 学校においては現
金の取扱いはどうか。
教育総務課長 業者等へ
の支払いは、原則口座振

マイナ保険証について
森田 本年12月2日から
従来の健康保険証が廃止
され、マイナ保険証での
受診が基本となった。資

り込みである。
諸井 学校は、事務職員
の一人配置が多いが金銭
に対する不正対策はどう
か。
教育総務課長 学校徴収
金システムにより行っ
ている。通帳と印鑑を同
じ者が管理することを禁止
している。
備品管理について
諸井 備品の総額と数量
はどうなっているか。
財政課長 庁舎備品は総
額1億2880万円。数
量は4430点である。



▲ 学生の経済支援！バスの通勤補助も！

22世紀アジアの森について
森田 県有林の同区画内
にあるメタセコイヤ展望
台がリニューアルされ、
さらに休憩所も現在改修

教育長 小学校総額
3億7000万円。数量
1万5000点。中学校
総額2億2000万円。
1万点の状況である。
諸井 管理はどうしてい
るか。
財政課長 エクセルで管

る中、活用について市内
外にもっとPRをしてい
ただきたい。
茶業振興課長 オルレ
コースの見どころとして
PRをしていきたい。

理している。
教育長 各学校デジタル
シートで管理している。
諸井 耐用年数や備品検
査はどうしているか。
財政課長 耐用年数が越
えても使えるものは使っ
ている状況である。備品
検査は、監査の
ほうで行ってい
る。





梶原 睦也 議員

ユマニチュードに 取り組むべきでは

答 積極的に推進し
勉強もしていく

梶原 令和6年1月に認知症基本法が施行されたが、認知症の人に関する理解を深める取り組みについてはどう考えるか。

市長 小学校4年生を対象にキッズサポーターの養成講座を開始するなど今後、地域ぐるみで認知症理解を進めていく。

梶原 認知症の人の尊厳ある暮らしを守る上で一人でも多くの市民が適切な接し方を学ばなければならぬ。相手を見る、話す、触れる、立つて行動を起こすという認知症の方へのケア技法である

ユマニチュードをぜひ本市でも取り組むべきではないか。

市長 この技法というのは非常に有効であると考えている。「人に優しいまちづくり」を掲げる嬉野市として、ぜひとも積極的に推進をし、今後勉強もしていく。

梶原 認知症の方同士や認知症の方の家族同士の情報交換などのピアサポートの体制整備は非常に大切なことだと考えるが。

福祉課長 同じ立場で悩む方同士が穏やかな雰囲気

気で交流いただく、ピアサポートの場としての認知症カフェを昨年に比べ多く開催しており、今後増えていくと理解している。

マイナ保険証について

梶原 マイナンバーカードの取得率は85・36%となっているが、非取得者に対する取り組みはどうされるのか。

市民課長 令和6年度は高齢者施設へ職員が出向いて行う出張申請、出張交付、赤ちゃん相談会場での出張受付等、今後は



▲ 令和6年1月施行の認知症基本法



への取り組みは。
健康づくり課長 マイナ保険証への移行に関しては7月の保険証配布時に案内チラシを同封、市報・国保だより、ケーブルテレビ、ホームページ、医療機関でのポスター等での掲示を行い登録を促している。

国道一位原交差点の 混雑緩和策について

答 国等へ要望活動
を行っている

ているか。

市長 日常的に渋滞が発生していると認識している。市として一位原の混雑解消も最重要事項と位置付け、国等へ要望活動を行っている。

災害時避難所の環境改善について

森田 政府は2025年

な状況か。

総務・防災課長 避難生活に起因する災害関連死が問題となっており、避難所の環境改善に向けた体制を整えるためであることから、本市でも資材の必要性、優先度、財政負担等を考慮して導入を検討していく。

格確認書の交付を含め、現場での混乱等は生じていないか。

健康づくり課長 混乱はないが、問い合わせは増えている。

森田 私も使用したが問題は感じない。市民の方にはしっかり説明をお願いしたい。

健康づくり課長 丁寧な説明に努める。



▲ 右折レーン増設が望まれる交差点





田中 政司 議員

地域で設置する
防犯カメラに補助を

答 支援制度を検討せざるを得ない時期に来ている



芦塚 典子 議員

田中 最近はSNSなどを利用した闇バイトなどで凶悪な窃盗や強盗事件が発生しており、国では防犯カメラの増設により監視の目を増やし治安の維持につなげるため、設置費用の公費での補助も考えられている。市としても安心安全な観光地嬉野を目指すため、地区や地域で防犯カメラを設置するのに対し支援策を考

えるべきと思うが。

市長 公的な部分での設置であっても角度によっては個人の自宅などが映り込む場合もある。地域の中で意思疎通が図られ合意形成が取れるという

芦塚 うれしの茶販売拡大戦略はないか。

茶業振興課長 そういった戦略はない。

芦塚 うれしの茶振興協議会はないか。

産業振興部長 総合計画の中で業務を進めている。

芦塚 今生き残りをかけたうれしの茶業プロジェクト

条件であれば、その費用についての支援制度を検討せざるを得ない時期に来ているのではと考えている。

温泉配湯管の現況調査について

田中 本年度450万円の予算で温泉配湯管の現況調査を行う事になっているが、現在の進捗状況はどうなっているか伺う。

観光商工課長 6月に事業者と委託契約を締結し調査を開始した。その後配湯会社や事業者等から情報収集を行い、露出部分について目視により漏

特別栽培に取り組んでいる農家は。

茶業振興課長 約10戸。

芦塚 支援策は。

茶業振興課長 環境保全型農業交付金等の補助等を実施している。

芦塚 生き残りをかけた戦略として茶業に20億円かけたらどうか。10年か

湯していないか等の調査を進めた。現在はサーモグラフィ―機器などを利用し埋設部分についての調査を行っており、令和7年の1月末に調査を終える予定である。今までの調査で配湯会社の配管の大小合わせて26カ所について漏湯が確認され、10カ所については対応が完了している。

田中 今後の調査で漏湯箇所がさらに増えると思うが修理等の対応をどうするの。

観光商工課長 あくまでも民間の施設なので責任までは取れないかもしれないが、色々な方法で修

市長 厳密な意味での児童館の開設が難しい。

芦塚 館内には、0歳からの乳幼児教室や高校生も利用できる図書フロアもある。子どもたちのために庁舎の2階フロアを今後開放できないか。

市長 現在、こどもセンター「リュッケ」がその

理をお願いしていく。**田中** 嬉野温泉の将来の為に温泉資源の保護を考えると、源泉の集中管理を再度検討するべき時期と考えるが。

市長 今後の調査結果や源泉所有者の意向、また多くの市民の理解も得る必要があるが、そういう諸条件をそろえることを前提に、それも選択

地元に戻ってくるように奨学金の返還への補助金ではないか。

教育長 給付型であれば資金確保について検討が必要で難しい。

芦塚 全国では54の市町村が実施している。定住奨励事業としても奨学金返還の補助が必要だが。

市長 当市としては財源とセットで議論したい。



▲ これからの治安維持のために





川内 聖二 議員

バス通学の子どもたち 全てに補助金を

答 総合的に考え、首長部局と協議し検討したい

川内 現在の児童生徒の遠距離通学費の補助金交付要綱は、平成18年6月付けでの施行となつているが、これまで見直し等の協議は行われたか。

教育長 上位法の義務教育諸学校等の施設費の国庫負担金等に関する法律の施行例による適切な通学距離は、小学生は4キロ、中学生は6キロ以内が基準とあり、この基準が変更されていないため見直しはなかつている。

川内 現在、25名の子どもたちに補助金を交付されているが、平成18年6月当時の補助金対象者数は。

教育総務課長 当時、小中学校合わせて124名に交付されていた。

川内 情勢的に燃油物資高騰の現状で保護者の負担が大きい。通学補助の距離の壁を無くせないか。

補助金交付要綱第1条の目的にも「保護者の負担軽減を図り義務教育の円滑な運営を資することを目的とし、その交付に關しては嬉野市補助金等交付規則に定めるもののほか、この告示の定めるところによる」とある。

課題としては、教育部局だが財源は行政部局なので、一緒に協議検討す

べきと思うが。

市長 市独自の取り組みとしてできるのか、研究しなければと思つている。

まずは幅広い分野において、負担軽減を図ることができないか、新年度予算の中で検討中である。

有害鳥獣対策について

川内 ため池の堤体法面をイノシシから守るため何らかの補助はあるか。

農林整備課長 農業用施設整備事業で対応ができるので相談して貰いたい。

川内 これまで有害鳥獣被害防除事業等での捕獲に要する費用、報償金等



▲ バス通学距離の壁の検討を



の金額が変わつてない。

燃油物資高騰のため増額の検討は。

農業政策課長 今後、県の交付金等もあるので研究していきたい。

川内 以前から要望してきた捕獲獣の最終処分に関してその後の展開は。

市長 処理方法に關しては、県外事業者の協力を確立し、猟友会と相談しながら捕獲数を増やしていきたい。

その他の質問

・ジャンボタニシの対策について

生き残りをかけた戦略を

答 総合計画の中で進めている

クトが必要と思うが。

市長 計画は立てていないので何もやっていないのではなく全国お茶まつりで取り組んでいる。

芦塚 茶ミットは再開できるか。

茶業振興課長 茶業関係業者の意向を伺っていく。

芦塚 お茶の有機栽培や

けてやる必要があるが。

市長 現在どこの産地よりも積極的に動いている。

塩田庁舎に児童館を計画できないか

芦塚 子どもたちが安心して遊べる児童館を塩田庁舎に計画できないか。

機能を担っている。

芦塚 今後、庁舎に市民図書館として拡充をという市民の声もあるが。

教育長 前向きに検討をお願いしている。

奨学金返還に支援を

芦塚 大学など卒業後に



▲ うれしの茶でおもてなしを！



古川 英子 議員

3歳未満児の保育料の無償化や減額ができないか

答 負担軽減を図る保育料のあり方を検討する協議会の立ち上げ予定



山口 卓也 議員

古川 3歳未満児の保育園児数は何人か。

子育て未来課長 378人である。(令和6年11月1日時点)

古川 3歳未満児を預けると保育料が高く、保育料の無償化や減額が実施されれば仕事に行ってみようと考え、労働人数の増加が考えられるがいかがか。

子育て未来課長 保育料が安くなれば仕事に行かなかった方も就業され就業率も上がるかと思っている。

古川 3歳未満児の保育料無償化や減額等を行ってほしいが嬉野市に住もう

という考えも増え、出産数も増えていくのではないかと考えるが、市長の考えはいかがか。

市長 保護者の負担軽減に最大限努めていくべきと考えている。負担軽減を図る保育料のあり方というものを検討するため、本年度中に協議会の立ち上げを行い年度内に第1回の会合をもって保育料のあり方について負担軽減になるすがないか探っていきたい。

乳幼児が安全に遊べる場所作りについて

古川 乳幼児が安心して遊べる場所を設置して欲しいかがか。

市長 子育て支援については、ニーズの高まりというのも実感している。夏場の暑さも外にいることさえ危険であり屋内で遊んでいただける環境づくりというのも重要ではないかと思っている。塩田庁舎等利活用検討委員会の中からも同じような意見があり、より良い子育て環境の充実に努めていきたいと考えている。

山口 中長期的な課題として、管理が行き届かなくなる墓地が増えていくと考えられるが、本市における墓地行政への現在の取組みは。

環境下水道課長 災害による共同墓地の復旧について補助を行っている。墓じまいへの支援

市道等の除草について

当課でも再度協議し、勉強していききたい。

山口 地域の担い手が高齢化していき、道路沿いの除草作業が地域の課題として益々大きくなっていくが、防草シートを敷

防草シートを設置している。

農林整備課長 農道や水路の法面は、農業用施設整備事業で防草シートによる施工も対象にしている。多面的機能支払交付金事業に取り組みされている地区では既に防草シートの施工も実施されてい

その他の質問
・県道346号を通る大草野小学校までの通学路の安全対策について

・嬉野中学校から三本松交差点までの街灯設置について



▲ 保育料無償化による人口増を…



援プラットフォーム」との連携状況を伺う。
総務・防災課長 令和3年に災害協定を締結しており、NPOなどの関係者を繋ぐ役割をしていた

だいている。現在、日本レスキュー協会と連携し、ペット同行避難所の運営やペット避難の仕方の研修を計画している。



諸上 栄大 議員

デジタルサポーターの養成を

答 来年度以降、手を挙げたい

諸上 県内市町での取り
目的は、スマートフォン等のデジタル機器の普及により社会のデジタル化が急速に進む中、誰一人としてそのデジタル社会から取り残されないよう情報格差をなくし、デジタル技術に関する知識の向上を図るためと認識している。

諸上 10月に経済活性化対策として、うれしカードポイント付与があり、スマートフォンでアプリ導入した場合にポイント

広報・広聴課長 県の担当課へ嬉野市で養成研修の開催ができないか相談し、一人でも多くデジタ

諸上 最近デジタルサポーターという言葉は聞くが、その内容と目的は何か。
市長 市民などからスマートフォン操作等の相談があった場合に、その対応や使い方を教える方である。

広報・広聴課長 令和4年度から、さがデジタルサポーター養成研修講座が開催されている。令和5年度は佐賀市、みやき町、多久市の3会場、令和6年度は鹿島市、基山町、吉野ヶ里町、小城市、鳥栖市の5会場で開催された。

市長 福祉の事業の中でもスマートフォン教室のようなことを行っている。そういうものも拡充し、

墓地行政への取り組みは

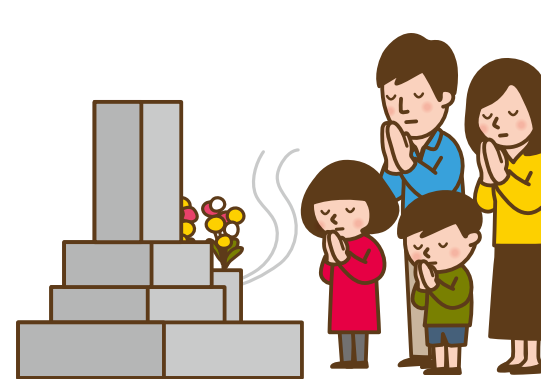
答 勉強していきたい

や墓の管理をふるさと納税の返礼品にするなどの先進事例もある。地域の現状把握や墓地行政の課題研究に取り組む時期と
環境下水道課長 まずは親族で集まられた際に墓の管理についても話しかけていきたい。担

設し、除草作業を省力化できないか。
建設課長 これまで同様に道路作業員で除草を実施しながら、作業が危険な箇所、法面が急こう配な箇所から優先的に防草シートを設置し、除草対策箇所の削減を図りたい。令和5年度から2カ所、

る。令和7年1月に多面的機能支払交付金の対象地区に防草シートの施工の講習会を計画している。
山口 災害時にNPOとの連絡調整を行う災害中間支援組織「佐賀災害支

災害への備え



▲ 墓地管理への対策を



▲ デジタルサポーター養成に努めよ



ルサポーターを取得されればと考えている。来年度以降、手を挙げるといような形で実施できればと思っている。
多くの方に利用いただければという努力も併せてしていく。いろんな層に分けながら、デジタル社会への対応をしていきたい。





水山 洋輔 議員

塩田津伝建地区20周年の記念事業は

答 これからしっかり考える



大串 友則 議員

大串 現在行っている嬉野市の広聴事業と、その成果を伺う。
広報・広聴課長 市内の公共施設7カ所に備え付けてあるのほほんボックスや、HP上ののほほんボックスウェブ版で直接、市民の意見等をいただけるよう運用している。

大串 のほほんボックスには昨年度で62件、今年度で43件意見が寄せられているようであるが、HP上では2020年で更新が止まっている。意見の公開はするべきではないか。
広報・広聴課長 HPの掲載は担当課の判断次第

構わない。
住所氏名を書いてある方には回答している。仮に匿名であっても、回答が必要と判断した場合は、回答するようにしている。
大串 市民から市民の意見を市長に聞いてほしいという声が上がっているが、今後の広聴事業の取

広報・広聴事業であると認識している。
多様な意見の反映は、区の役員の方などを集めてするやり方は大変有意義なことではあるが、時間帯の設定次第では子育て世帯が参加しづらいという意見もある。いろんな工夫をして開催する必要があると思う。



教育長 現在のところは具体的に着手していない。鹿島市にもあるので情報交換をし、これからしっかりと考えていきたい。
水山 20周年に向けてイベントを行い、塩田津の磨き上げに取り組むべきと思うが。
教育長 西岡家や天草陶石が運ばれたことなど、まだまだ知られていないケースもあり、PRする機会としたい。
水山 観光地としての拠点づくりの進め方は。
教育部長 都市計画マスタープランとの整合性を図り、塩田津の歴史文化の魅力を活かした保存活

用に取り組む。
水山 市長の旅行業の資格を活かした考えは。
市長 地域経済への稼ぎとなる様な旅行商品プランを提案し、嬉野の観光振興や文化財保存に回していけるような観光地づくりを目指す。
塩田庁舎の利活用について
水山 基本構想を基にした市民説明会等の計画は。
企画政策課長 現在、活用基本計画案の策定に向けて委員会協議を行っている。基本計画がある程度固まった時点で

情報提供等を考えている。
水山 基本計画はいつ頃までに策定されるのか。
企画政策課長 今年度を目途に考えていたが、期限ありきではなく委員会の議論を最優先として考えている。塩田庁舎の窓口サービスは、新庁舎の開庁に合わせ支障のないように構築していく。
年収103万円の壁について
水山 本市における税収への影響は。
市長 所得税の基礎控除43万円が75万円に上がったと仮定して、嬉野市で



▲ さらなる塩田津の活性化を

は、3億6千万円程度の減収見込み。
水山 交付税措置などの見込みは。
財政課長 減収分の75%は普通交付税で措置されるが、残りの25%は減収

の影響を受ける。現時点で減収分に対する国の措置は不明。
市長 国の施策において行われるので国の責任として真水での減額補填を望む。





増田 朝子 議員

各地域コミュニティへの配置を

答 課題を認識し、充実を図っていきたい

増田 生活支援体制整備事業第1層コーディネーターの業務内容は、**市長** 地域のニーズ、資源状況の見える化、地域課題の抽出、地域の多様な主体への協力依頼などの働きかけ、関係者のネットワーク化、目指す地域の姿、方針の共有、意識の統一、生活支援の担い手の養成やサービスの開発、ニーズとサービスのマッチングがある。

増田 第1層協議体の目的と現況を伺う。

福祉課長 高齢者の生活支援に必要となる地域資源の把握や実際の地域課題について、話し合いな

増田 この事業の今後の展望は。

福祉課長 令和7年度より単年契約から3年契約になる。すべてのコー

市長 この事業は、多岐にわたるニーズにきめ細かな対応をどのように作るかが課題である。この

増田 嬉野市では、7つの地域コミュニティで地域づくりをされている。その拠点に第2層のコーディネーターを配置し、地域丸ごと自分ごととして取り組めると思うがいかがか。

増田 その中に第2層のコーディネーターが入っていないのはなぜか。

福祉課長 第1層協議体運営規定で定めており、少ない人数でコンパクトにフットワーク軽く協議会を開催している。

福祉課長 7名。

増田 放課後児童健全育成事業について



▲ 吉田地区（茶の間）の様子



課題を認識して充実を図っていききたい。

その他の質問

- ・放課後児童健全育成事業について

・市道、県道の整備について

市民の意見を聞く 広聴事業の展開を

答 市長とかたろう会(仮称)を今後開催をしていく

今年度は、嬉野市の次期総合計画の策定を踏まえたフューチャーセッションの事業の開催を予定している。

成果としては、いただいた意見の内容によっては、対応が難しいものもあるが、改善できたものもある。

だが、実際に改善した内容等を広く市民に掲載するように再度、精査して掲載するよう検討する。

大串 のほんボックスに投稿する場合、必ず個人情報が必要か。

広報・広聴課長 のほんボックスに投稿する場合は、匿名でも空欄でも

組みは。

広報・広聴課長 令和7年当初以降になると思うが、市長とかたろう会(仮称)の開催を考えている。

大串 行政区长や子育て世代の声、高校生の声を積極的に市長自ら真摯に聞くべきであると思うが。

市長 市長の公務全てが



▲ このような広報事業に期待！



阿部 愛子 議員

阿部 うれしかーどの取得率はどうか。

市長 登録者数が2万4487人で率は78.5%。アプリの登録者数は6992件で、再発行が189件である。

阿部 今回給付が遅くなったのはなぜか。

観光商工課長 二重登録や市内転出、市外などの確認が長引き12月にずれ込んだ。ポイント配布はほぼ終わっている。

阿部 現在、加盟店は何店舗あるか。

観光商工課長 71店舗である。加盟店が増えない理由は一概には言えないが、ポイントについて店

舗が負担する部分が出てくることなどが考えられる。

阿部 先日、議員とかがたろう会でスマホアプリ1000円上乗せが導入できない人に対して不公平であり差別であるという声があった。それを解消する対策はどう考えるか。

観光商工課長 カード事務局に問い合わせがある場合、手助けをしていると報告をうけている。スマホを持たない人に対しては検討していきたい。

阿部 生活費負担の支援ならばスマホアプリの導入できない人への対応は

どうするのか。

観光商工課長 福祉課の生活支援体制整備事業の

スマホ教室の紹介をする。

阿部 ポイントの期間はいつまでなのか。

観光商工課長 有効期間は使わなければ2年間と認識している。

学校体育館のエアコン設置について

阿部 子どもたちの熱中症対策や災害時の避難場所となる体育館のエアコン設置は考えているのか。

総務・防災課長 各学校を指定避難場所としている。空調機を備えること

が望ましいが、現状では柔軟に避難所の選択を行っている。

阿部 子どもたちの安心安全のために、国の施設整備補助事業に手を上げないか。

教育長 条件を十分に把握して検討していきたい。

うれしかーどアプリの対応は

答 スマホを活用して



山口 虎太郎 議員

山口 地域計画策定事業の進捗は。

農業政策課長 2回目の座談会が終わり、令和7年早々に3回目を開催し、内容を取りまとめた後、3月に計画案の公告を予定している。

山口 地域計画に該当しない空白地域は、今後ど

地パトロールで回っているが、年々耕作放棄地は広がる一方である。課題を農業委員、推進委員とともに農家と協議していく。

スマート農業について

山口 市長が推進する施

相談に乗っていくということとは可能かと思うが、

施設園芸のようなスクील形式は非常に難しい。

山口 市として有機栽培で、小規模なハウスのリース等は考えられないか。

市長 野菜のように単年程度で勝負するものに

茶業対策について

山口 茶の販路拡大のための活性化委員会の進捗状況を伺う。

茶業振興課長 PR及び販路拡大のための取組みとして、大都市をはじめ、全国的なイベント出展を行った。

山口 嬉野にお茶ありと言われるような市内へのPRはあるか。

市長 茶品評会における好成绩というののも一つのところになる。地道に取り組んでいく。

うれしかーど会員



▲ 平等に使えるアプリの取り組みを





宮崎 良平 議員

水資源、源泉保護に向けた現在の動向は

答 水資源保全条例案については審議を行っている

宮崎 水資源、源泉保護の条例制定における現在の動向を伺う。

環境下水道課長 条例の制定まで至っていないが、昨年度、水資源保全全国自治体連絡会の担当者会議に出席し、国の動向など情報収集を行うとともに、今年度10月29日に第1回嬉野市環境審議会を開催した。嬉野市水資源保全条例案について審議を行い、委員から条例案についての意見を頂戴した。条例案及び審議会の内容は、市のホームページにも掲載をし、引き続き制定に向けて各条例案の精査を行いたい。

宮崎 長年取り組んできた水資源保全条例案が提出され、審議会にて議論をしていただいていることに感謝する。今後どのような形で正式に上程される予定なのか伺う。

環境下水道課長 その都度、問題があった場合には条例改正ができるような条例として、できるだけ早く、来年度以降、条例制定に向けていきたい。

宮崎 将来的に隣接する市町等も巻き込み協議をしていく考えがあるのか。

市長 水道も広域化しており、佐賀市の水源地も含めた連携をしていかなければ、市民の安心も守

れない現状だ。今後、協働した歩調を取り、実効性のある体制を組めるよう努力していきたい。

宮崎 源泉保護において鳥取県鹿野町が「鹿野温泉保護対策要綱」として定められている。要綱を定められないか。

市長 大いに参考になる。県の薬務課、健康福祉部にも間に入ってもらい協議としては進みつつある。今後、綿密な連携の下に関係者総力を挙げて努力していきたい。



▲ 守っていききたい水資源



地域計画策定事業の進捗は

答 3月に計画案の公告を予定している

う考えているのか。

農業政策課長 今後も農用地として確保するとともに、農村環境を損なう荒廃農地と周辺農地との調整を図りながら、有効活用に努めていきたい。

山口 耕作放棄地への対策は。

農業委員会事務局長 現

設経営によるスマート農業の進捗は。

市長 好循環の担い手育成の確保ができつつあると確実に手応えを感じている。

山口 お茶への農業スクールは今後考えられないのか。

市長 個別にいろいろと

してハウスは有効だ。西洋野菜においても、県の補助や中間管理機構を間に挟み、遊休ハウス等のマッチングの相談にも応じたい。



▲ 食糧を守る水田に未来を考える



スポーツ文化における懸垂幕・横断幕の基準は

宮崎 市民の誇りとして、地元出身で活躍する方々を支えていくという意味も込めて規定等定めるべきではないか。

市長 研究はしてみたい

が、可能なかどうかも含めて、関係者とも情報共有を図りたい。

その他の質問
・嬉野中学校から三本桜交差点までの県道防犯灯について

動く!! 委員会



幼保小連携の現状及び諸問題について

文教福祉常任委員会

調査理由

0歳から18歳までのライフステージでは活動の場も大きく変わってくる状況であり、それらの移行期には様々な課題があると考え、子育て未来課と教育委員会へ聴取し、嬉野市の現状及び諸問題を調査した。

委員会の意見

嬉野市では早くから早期支援コーディネーターを配置し、年中児から配慮が必要な可能性のある児童の保護者等に対しては、指導や助言、支援を行う事業を展開されている。しかし、子育て期における相談内容は多岐にわたり、特に乳幼児期の育ちが生涯の学びにつながる重要な時であり、よい学びの場を提供するためにも、必要によっては年中児以前からのアプローチが必要と考える。



そこで、幼保小連携に対する取り組みをさらに強化していくためには、機構改革を含め、同じ環境で早期支援コーディネーターはもとより、子育て未来課の保育所、幼稚園担当者や放課後児童クラブの担当者等が連携・協働できる環境の整備を行い、早期から就学に向けた支援体制の整備が急務と考える。

予算審査特別委員会及び通年議会について

議会運営委員会

調査理由

審議が深まる委員会の在り方の一例を学ぶため、鹿島市議会の新年度予算審査特別委員会の状況を視察した。また、通年議会導入のメリット、デメリットを調査するため大阪府の四條畷市議会及び大東市議会を視察した。

委員会の意見

新年度予算審査特別委員会のメリットは、「議案一体の原則」が確保されており、予算の全体感に立って議論できることである。通年議会のメリットは、議会側からの呼びかけで臨時的な議会開催が可能となり議会対応の迅速化が図られる。また、会期を限定せず1年を通し委員会活動を行えるため、付託なしで継続的な政策の調査ができる。デメリットは、自然災害等の緊急時に行政が

迅速な対応ができない事態も考えられ、市民の利益を損なう恐れもある。各自治体に合わせた制度設計を行うことが重要である。今後も、議会基本条例で定めた議会改革を地道に進めていくことが市民にとっての最大の利益と考える。



▲ 通年議会の調査をする委員

議会からの提言

嬉野市議会では、嬉野市議会基本条例第13条の規定に基づき、文教福祉常任委員会から報告された提言事項を議会からの提出とすることを決定し、「幼保小連携に係る政策提言書」を辻浩一議長から村上大祐市長へ提出した。

「幼保小連携に係る政策提言書」

提言理由

こども家庭庁の創設に伴い、子どもまんなか社会にむけた施策が期待されるなか、だれひとり取り残さない子どもの支援を実践するため。

提言

1 就学前は、特に乳幼児期の育ちが生涯の学びにつながる重要な時期であり、一人ひとりに、より良い学びの場を提供するために、年中児以前からのアプローチが必要と考える。現状では市長部局と教育部局という縦割り行政の仕組みにより相談窓口が多いため、今後は一括した相談窓口の設置を求める。

2

幼保小連携に対する取り組みをさらに強化するためには0歳から18歳までの学びの連続性が重要であり、教育委員会内に子どもに関わるすべての関係者が立場を超えて連携・協働できる環境と支援体制の整備を求める。



提言書はこちら▶



閉会中の委員会審査(調査)付託案件

令和6年第4回定例会

付託事件名	付託委員会名	付託期間
ふるさと納税等について	総務企画常任委員会	次期定例会まで
有機農業について	産業建設常任委員会	次期定例会まで
各期の議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項	議会運営委員会	次期定例会まで
議会の活性化を図るための調査研究	議会活性化特別委員会	調査終了まで
議会広報の編集発行に係る調査研究	議会広報編集特別委員会	調査終了まで
市庁舎のあり方に関する調査研究	市庁舎検討特別委員会	調査終了まで
議会ICT化の推進に係る調査研究	議会ICT化の推進に係る特別委員会	調査終了まで

令和7年
第1回定例会(3月)
会期日程(案)

開会 2月28日
常任委員会 3月3日、4日、5日
議案質疑 3月10日、11日、12日
一般質問 3月13日、17日、18日
討論・採決、閉会 3月21日



トピックス
ときを読む

全国道場 少年剣道大会で日本一に



嬉野小6年生
江口 真央さん

令和6年10月20日に横浜で開催された「全国道場少年剣道大会」小学生女子個人の部で、見事日本一の称号を手にした、嬉野小6年の江口真央さんの素顔に迫ってみました。

Q 優勝し日本一になった時の率直な気持ちは？

真央さん 努力して良かったなと。毎日の稽古と朝夜の体幹トレーニングが優勝につながった。

Q 全国大会は緊張した？

真央さん 一回戦だけ緊張したけど、そのあとはまったく緊張しなかったです（笑）

真央さん父 準決勝は30分に及ぶ延長戦を制したが、大人でも心

が折れそうになる。よく折れずに頑張ってくれました。
真央さん 日本一になりたい気持ちが強かったので頑張れました。

Q 自分の強みは？

真央さん 面が得意です！それと負けたくない気持ちはです。
真央さん父 面だけは抜群です（笑）相手にバレていても駆け引きがうまいのか、80%は面で一本取るんです。

Q 小手や胴は？

真央さん うーん…（笑）

Q 質問変えます（笑）

真央さん 学校で好きな教科は？
真央さん 図工と体育。絵を描くのが好きです。

Q 友達とはどんな遊びを？

真央さん お喋りしたり、ゲームしたり、SNSを見て盛り上がりたりしてます。

Q 何をしている時が一番楽しい？

真央さん 剣道の稽古です！
Q 本当に？（笑）

真央さん 本当です！（笑）始めたころは嫌いだっただけど、努力して勝てるようになってどんどん楽しくなりました。

Q 今後の目標は？

真央さん 強豪校に進学し、もっと強くなって、いろんな大会で優勝したい。

Q 将来の夢は？
真央さん お父さんみたいな美容師になりたい。

（※お父さん隣でウルウル）涙
Q では美容師しながら日本一の剣士ですね？

真央さん はい！

Q 最後に伝えたいことは？

真央さん 嬉野市でももっと剣道をする人が増えてほしいです！ライバルが増えることで自分ももっと強くなりたいです。



▲ 剣豪3兄弟

取材を終えて

堂々としながらも可愛い笑顔で、はきはきと答える姿と、剣道に対する想いを話すときの真つすぐでキラキラした目は小学生といえども、さすが日本一の剣士。
ただただ強くなりたいとひたむきに努力する姿には、感動とともに私たちに力を与えてくれる。
そんな真央さんの今後の活躍に大いに期待し、応援していきたい。

C コラム COLUMN

成田からレンタカーで約1時間、我孫子市の有機農業を教える農業塾を訪ねた。80歳過ぎの塾長は、だっ広い関東平野の空っ風が吹く農場で有機無農薬野菜作りを教えてくださいました「肥料は？」「大麦若葉と米糠だけ」青々と茂る大麦畑を指さして答えた▼農業の知識と経験のある塾生が安全な食物を作っていけば、日本の食料は自給できると、塾長の志は老いても気概は高い▼国道4号を北上し、標高800mの大内宿に着く。「ネギそば」で有名な伝健地区である。そば打ちは、ばあちゃんたちの仕事。観光客300万人の食をほぼ賄う▼さらに北上し、磐梯山の麓の猪苗代湖畔の老舗、老主人の打つそばは、細くて、絶妙な三たてである。ここまできると名人芸である▼食も職も同じ。年季を入れた腕前と知識から「つなる味」が出る。

そんな仕事をしたいなあ。

（典子）

議会広報編集 特別委員会

委員長	宮崎良平
副委員長	水山洋輔
委員	梶原睦也
委員	芦塚典子
委員	増田朝子
委員	山口卓也
委員	古川英子